（昭和七年九月三十日第三種郵便物認可）　昭和十二年十月五日　東北商工時報　（火曜日）　第九十二號（一）

東北商工時報

毎月五日　廿五日發行
編輯兼發行人　堀越梅吉
印刷所　福島縣平市北白銀町三八
發行所　東北商工時報社
古川醫六
廣告料　一行金一圓　月ヶ井金一部一錢十

今日の問題

婦人服の改善

婦人の服裝はその改善の要切に、且つ急なるを痛感せしめたとの一節がある、如何なる點から見ても事務的ではない、我邦古來の服裝は近年著しい洋裝の普及發達によつて漸次改善されつゝありといふものゝ最も時潮に遲れたりと思はるゝは矢張り婦人の服裝でありこれが改善の望ましきは勿論として、この機會に愛國婦人會や國防婦人會あたりが卒先仕事に適した婦人服の普及に一工風あつて然るべきと思ふが如何

日本女性の美德

到る處の街頭で千人針を見かける、老ひも若きも、そして一刻を爭ふ多忙な女性までが一々丁寧に縫つてやつてゐる、涙ぐましい光景である、これ卽ち日本女性最高の美德の現れであると共にいよ〳〵銃後の守りは完全である。

我皇軍の必勝を祈る

ラヂオを耳で聞くとき眼で北支のニュースを見るとき我等の心は轉た感無量なり戰亂の北支に橫暴なる支那兵と日夜冷たき星の下で正義の劍を奮ふ我が兵士に滿腔の感謝を捧げると同時に我等も亦統後にあつて正義のペンを揮はねばなるまい

國民總動員實行委員會

國民總動員縣實行委員會は十月七日福島教育會館に招集、君島知事からの諮問案を中心に協議第一聲をあげることゝなつた

東北振興と福島縣

更生の意氣高く

主要產業の躍進

福島縣は南は茨城と栃木に西は新潟縣群馬の兩縣、北は山形、宮城縣に接し東は太平洋に面してゐる、同縣は前年の凶作で損害激甚であつたが東北振興計畫の實現により、これと關聯して全縣下今や更生の意氣に燃え立つてゐる、產業方面は古くから蠶糸として知られてゐるが近年新興工業の躍進著しきものがある、主要物產は米穀を主とし繭、生糸、絹織物、紡績業、煙草木炭、木製品、麥、菓子類金銀銅鑛、漆器、セメント用材、漁業、炭養狸、醬油大豆、鷄卵等がある、又縣內景勝に富み磐梯山を中心に裏磐梯三潮の風光と磐梯山麓に展開する周圍約十七里の猪苗代湖畔、東山溫泉飯坂溫泉、高湯溫泉、土湯溫泉その他縣內到る處に湧出する溫泉は旅情を慰むるに充分である、又代表的なる鑛泉、双葉郡の谷地鑛泉折木鑛泉、石城郡では白鳥鑛泉、小瀧鑛泉等有名で風光又絕大なり、これから秋のピクニックに溫泉、鑛泉廻りも乙なものであらう、

内郷村紹介
植田町紹介
は次號へ

農村の主要物產

馬鈴薯栽培

着々善改さる

縣下に四千四百町歩の作付を持つ馬鈴薯栽培は從來平均反當り二百十八貫といふ悲觀的數字を見せてゐる狀態で、これは連作に依る品質收量の低下であるとし縣立郡山農事試驗場では、さきにこれが更新と種いも自給計畫をたて採種に適當する高冷地である耶摩郡吾妻村（標高五四〇米）に原種圃各郡に採種圃を設置、銳意增收に企圖し、今年第三年を迎へたが、原種は非常に良好で去月十日收穫近く配布になることとなつた、從來北海道、青森、神奈川等から大量の原種を購入してゐるが恐らく縣會議員として小松章氏程の適任は滅多にあるものでない、石城民政黨の新人花形として縱橫に切り廻してゐる、明敏で熱心家で押し味もあり情味豐かに四百萬縣民の代表者として恥かしからぬ人材である、氏は石城郡勿來町の人にして町政の刷新に、地方の發展に重きを置き地方民の信賴を篤うして町會議員に當選すること三度、目下現町議として更に消防組頭の重職にありてもし事あらば自己を捨て、猛進猪突する太腹で正義觀念に全身は血に燃えてゐる、實に氏の如き純情、熱血溢れる誠實をもち公事に努むるものは亦稀とすべきである、今や民政黨の新人として又來るべき衆議院議員選擧には小松章氏の如き熟血漢を中央政界に出馬を一般縣民より期待されてゐる、又現縣會議員として申し分のない人格者として、光つてゐる逸材だ。

人物素描（四）

古川生

銀色瓦の進出と小野無比雄氏

石城郡好間村小野無比雄氏は從業員と一緒に油と汗に塗れて眞黑になつて働いてゐる、私はじつとしてゐられない敬虔な氣持に胸を打たれた、小野無比雄氏は如何なる多忙と云へども惡い顏を見せず心よく來訪者に對して面會して呉れる、謹直な社交家であり銀色瓦事業として斯業界の新人として信望名聲地方に隆々たり、亦銀色瓦として品質は縣下第一と折紙付の優良品として大評判だ販路は福島、茨城、石城地方で家運の進展と販路の擴張に努力されてゐる。

片倉磐城製糸と所長今井岩根氏

片倉製糸の發展に今井所長の努力は今更云ふまでもないが今井岩根氏の經營のよろしきを得ると共に、片倉磐城製糸の躍進は所長と從業員の一身團結によるもの、女工、男工よりは眞に慈父の如く慕はれてゐる、今井岩根所長の人格も思はれて床しいものがある氏は自重して大片倉磐城製糸會社の爲めに一層の光輝あらしめんことを望むものである

高湯溫泉

信夫郡高湯溫泉は福島驛より奥羽線に乘り庭坂驛より西に二里、福島驛前東京屋果實店より、高湯溫泉玉子湯の玄關まで自動車の優秀なバスが往復してゐる、高湯は溫泉情緒に加へてその稀に見る風光の美觀は四季とり〴〵の眺めを持ち大自然に惠まれた高湯溫泉は殊に紅葉の山々に秋の聲するあたり夏のそれに比し一入の風情を誘ふ、高湯溫泉の明光境へは福島から自動車で三十分、日歸りの行樂に適し高湯一周の旅を易とすることが出來る、現に信夫郡高湯溫泉は觀光施設に於ては先づ東北唯一とも稱すべく、尙同溫泉玉子湯溫旅館は總二階で見晴らしの良い全く山の溫泉氣分を深めそれに主人公は自ら入浴客の待遇に當つてゐる、客は絕えず來湯し日に益して玉子湯溫泉は大評判である。

小松章氏

人格適材適所と云ふことがあるが恐らく縣會議員として小松章氏程の適任は滅多にあるものでない、石城民政黨の新人花形として縱橫に切り廻してゐる、明敏で熱心家で押し味もあり情味豐かに四百萬縣民の代表者として恥かしからぬ人材である、氏は石城郡勿來町の人にして町政の刷新に、地方の發展に重きを置き地方民の信賴を篤うして町會議員に當選すること三度、目下現町議として更に消防組頭の重職にありてもし事あらば自己を捨て、猛進猪突する太腹で正義觀念に全身は血に燃えてゐる、實に氏の如き純情、熱血溢れる誠實をもち公事に努むるものは亦稀とすべきである、今や民政黨の新人として又來るべき衆議院議員選擧には小松章氏の如き熟血漢を中央政界に出馬を一般縣民より期待されてゐる、又現縣會議員として申し分のない人格者として、光つてゐる逸材だ。

中川與三郎氏

中川與三郎氏は福島第一羽二重會社の進展に日夜寢食を忘れ同社の躍進に奮鬪をしてゐる、ことに同社の活躍大いに專務取締役中川與三郎氏の着實なる努力は其の効を奏し、今や縣下に於ても羽二重は全國的に優良品として折紙付けられてゐる、その半面に氏の盡力を見逃すことが出來ない、氏は情にもろく從業員一同より慈父の如く親しまれ公共の念厚く巍然として心情の皎潔な玲瓏一點の曇りなく福島縣事業界に光つてゐる存在である、氏は酒、煙草等を好まず趣味としては音樂、繪畫、盆栽、草花との由。

馬上守一氏

氏は地方開拓は通信機關に興る事大なるを覺り、繁戟なる事務通信に鞭撻して地方開發を指導せる其の偉績は資性溫厚、篤實の君子にして學あり才あり、時流に擧げて數ふる可からず、氏力し町民より絕大なる信用方の紳士たり、殖興業の道を計り植田郵便局長として馬上守一氏は愛町發展に努ずに嚴正にして廉潔實に地の榮職にあり同町の模範者として推賞に足る稀れに見る人物である。

湯本町

由來新聞の目的は社會方面のニュースなれど各町村の風俗、人柄など紹介批評するも一興かと思ふ。その意味に於て紙面の宥さるべき範圍内に於て茲に紹介する。

新興湯本町の底知れぬ膨脹力これ正に着眼點の鋭い郷土の誇である天惠的風光明媚な環境に惠まれてゐる湯本町は常磐線湯本驛久之濱驛間のガソリンカーの運轉と共に將來工業地、溫泉地とし大發展を約束される湯本町は今から七十年は昔の宿場として繁盛な所であつた炭礦地として全國的に有名な存在である湯本町の一流商店と人物を紹介す。

●町長石川德壽氏は湯本町民の間に絶對的德望があり公共事業のために卒先喜んで活躍してゐる、氏は湯本町長の名譽職にあること三期其の間湯本發展福利のため絶大なる力を致してゐる事は見逃してはなるまい。

●比佐昌平氏は縣民の信用厚く地方の爲一段の努力を懇願する

●品川白煉瓦會社湯本工場今日あるは工場所長服部梅雄氏の偉大なる努力の賜物である、故に從業員一同より慈父の如く慕はられる福德圓滿な人だ同社の庶務主任矢野丑男氏は所長の片腕となつて同工場躍進に一心不亂に奮闘してゐる。

●最近無盡業務の發展につれ時代の要求は漸く一般的に認められ今や無盡會社は金融市場に於て必要欠く可らざるものとなつて來た。我が湯本信用無盡會社も社會的要求の下に大正十二年湯本町は今から七十年は昔資本金六萬圓を以つて創立の宿場として繁盛な所であつた炭礦地として全國的に有名な存在である湯本町の一流商店と人物を紹介す。

●町長石川德壽氏は湯本町民の間に絶對的德望があり公共事業のために卒先喜んで活躍してゐる、氏は湯本町長の名譽職にあること三期其の間湯本發展福利のため絶大なる力を致してゐる事は見逃してはなるまい。

●比佐昌平氏は縣民の信用厚く地方の爲一段の努力を懇願する

●品川白煉瓦會社湯本工場今日あるは工場所長服部梅雄氏の偉大なる努力の賜物である、故に從業員一同より慈父の如く慕はられる福德圓滿な人だ同社の庶務主任矢野丑男氏は所長の片腕となつて同工場躍進に一心

專務比佐賢司氏は社長の好き女房振りを發揮す同社發展に盡力し。現に湯本町會議員の職務にありて湯本町開發の偉大なる恩人だ。

●湯本町の老舗として信用ある吉田泰平商店は湯本の目抜の場所に落着きのある雜貨店にして當店の特長とする所は絶對に信用の出來る店で安心して買ひ得る店として近郷近在より評判が高い。

●水戸屋精米所店主新妻稔氏は溫厚にして曲がつた事の嫌らいな實直な人物として地方民より信用を厚くしてゐる、氏の今後の活動には眞に價するものがある。

●九頭見本店の和洋菓子は風味も良く、パンもまた評判がよい

店主九頭見清市氏は資性溫厚にして人望のある御人である、氏の營業振りの堅實なること當地にその比を見ず濱三郡切つての繁昌店である。

大平履物店は湯本町になくてならぬ存在であり店主大平芳太郎氏は緻なる頭腦と蘊蓄せる營業方針と獨特の手腕を有し、一面慈心に富み隱れたる善事多しと。

栗原靴店の進出は素晴らしいことに最近植田町に支店を設け正に日の出の勢である

岡田屋呉服店は湯本町の一流商店として人氣の中心になり同店の店主小野堯氏は常に信用第一をモットーとして奮闘努力してゐる現に湯本區會議員として町政の福利增進に貢献してゐる。

（完）

よい酒うまい酒

酒中の酒　**近盛**

酒は近盛醉ひ心地が良い、美味しくて惡醉、二日醉を絶對にしないからです、頭を痛めたり體を害したりする事が全くないからです、昔と違がつて現代は酒を飲むのに隨分衛生を考へて飲まれる人々が多くなりました朗かな氣分になり元氣を増して健康のためにも良く明日の仕事の能率を上げるにも効果があるからです。

酒は近盛
心も晴れて
好きな貴男と
向ひ酒。
酒を飲むなら
近盛をのみ
風味萬點
氣も晴れる

秋の夜の團らんの食卓には近盛が一番宜しく家庭はこれがために圓滿で主人は明朗となられ家族の人々にあたりは實に優しく皆さんで和氣靄々となられますこれ現代の賢婦人たるおつとめの一つです、それは在來の日本酒が値上げ〳〵で上戸黨に澁面を作らして居るのに我が近盛ばかりは價格低廉で呑み過ごしても害がなく、その眞價を一般に認識せられて來たのは近盛ファンにとつてうれしいニュースで御座います。どうか御心置なく召上つて、行樂のシズン、ピックニックには近盛を御持ち下さい。釀造元は石城郡内郷村馬目合名會社でございます、最後理想近盛を愛用して愉快に元氣に暮して下さい。

信用絶大の

常陽銀行平支店と
支店長中山氏の盡力

常陽銀行平支店は顧客本位を中心として親切な銀行として郡内は勿論平市には絶大なる信望を博し、まさに日の出の勢である。

溫泉旅館

松柏館　比佐榮一
山形屋　鈴木康平
大瀧　鈴木信顯
昭和館　島崎エト
常陸館　塙信人
備中屋　烏崎三五郎
新つた　若松幸藏

藝妓屋組合

つた本　高萩佐久馬
新龜　鈴木金三郎
千代萬　平賀千代
寺　大平壽次

湯本諸名商店案内

呉服太物商
岡田屋呉服店　小野堯
入忠呉服店　若松忠右門

精米所
千葉精米所　千葉マサ
水戸屋　新妻稔
小野精米所　小野健之助

樋口產婆看護婦學校　樋口リウ

寫眞屋
古山寫眞館　古山可光

町政改善に不斷の努力
横山太一氏
勿來町の逸材として町政發展に寢食を忘れて地方產業殖產の振興發展を叫んで大勿來建設に一身を賭して發展向上に盡力しゐる、横山太一氏程の適任は滅多にあるものでない、町政開發に努力し其の功を酬られて昭和十二年四月町長に推薦された勿來町の今日の發展は同氏の努力に見る所頗る多い、横山太一氏は明治廿三年七月十七日生れの本年四十九才の働らき盛り、元氣旺盛將來期待する、處愈々多からんとするのである。

塗物商　**會澤治助**　福島市置賜町　電話三六三番

石城郡内郷村　**佐藤三平**

佐藤清照

精米業　帝國生命保險湯本代理店　**小野健之助**

石山晃男

小田吉次

平市大町　**磐城無盡**株式會社

石城郡各　**小學**校長　**會**

海丘寺住職　**花澤賢有**

庭坂小學校長　**大内傳四郎**

中野小學校長　**花澤常吉**

平市助役　**伊藤秀吉**

平市收入役　**西野源次郎**

桑折町　**齋藤**小四郎商店　電話　番

水野憲太郎

平市驛前　**平電力會社**　電話二九七番

松繁庄一

和洋銅鐵　金物問屋　平市五丁目　**釜屋商店**　電話九九九番

吉田廣佐

小名濱町漁業組合長　**水野政次郎**

植田町　**前田醫院**

植田町本町　**栗原靴鞄店**　電話一二一番

平市二丁目　**和久井屋**漆器店　電話四〇五番

平市田町　土木建築請負業　**强口唯七郎**

平市堂ノ前　合資會社　**平製作所**　電話四十一番

平市仲間町　九品寺住職　**遠藤心光**

平市　郡山無盡株式會社　**平出張所**

平市才槌小路　**武藏鐵工場**　電話五一四番

四倉町　**吉田醫院**　院長　吉田正

諏訪神社　**鈴木克彌**

山崎宣吉

平市田町大通り電五九三　**志賀材木店**